

会員のみなさまからのメッセージ

研究会誌第 16 巻 1 号に掲載できなかったメッセージを掲載します。

研究会に参加しての思い出、感想

いわてリハビリテーションセンター

小澤 悦子

リハビリ看護との関わりは、今から 15 年前、急性期病院しか経験がなく、リハビリ看護については一からの勉強でした。そんな中、元看護部長濱川育子氏（平成 28 年 2 月永眠）が、研究会が一番の学びになると話され、ほとんど毎年参加しました。特に継続教育では、様々なテーマでグループワークを行い、次の一步につながる学びを得ることができました。

また濱川氏は、研究会の理事をされており皆様にお会いするのを楽しみにしておりました。私達も研修会での役員の皆様の暖かいお声掛けがうれしく、研修会の学びと共にリハビリ看護に熱い思いの役員の方々とお話できるのも楽しみでした。

研究会が閉会するのは大変残念ですが、皆様が築いてくださった土台を基にリハビリ看護は発展していくものと信じております。

国際リハビリテーション看護研究会、研修会参加の思い出

いわてリハビリテーションセンター

山本 なお子

17 年間、本当に沢山のことを学ばせて頂きありがとうございました。
当センターからは、「継続教育プログラムーリハビリテーション専門看護」研修会には発足と同時に参加させて頂きました。参加人数は 30 人以上を超えています。院内教育ではとても学ぶことができない貴重な充実した研修会で、学んできた一人ひとりが「リハビリテーション看護」の奥深さに感動してきました。私個人的にも、初回発行の「リハビリテーション看護の新しい視座」にも投稿する機会を頂き勉強することができました。当センターの看護部にとっては、とても貴重な研究会であり、多くの看護師を育てて頂きました。本当に、今まで、ありがとうございました。